

補助事業番号 22-1-029  
 補助事業名 平成22年度 引きこもりに関する相談又は相談員の育成研修補助事業  
 補助事業者名 社団法人 青少年健康センター

## 1. 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

当法人は、引きこもり・不登校など社会不適応状態に陥って悩む若者とその家族ならびに各種支援活動従事者に対し直接又は間接的な支援活動と知識の普及啓発を行ない、青少年の健全育成に資することを目的としております。

### (2) 実施内容

#### ア. 引きこもりを対象とした自立支援事業

- ・ 引きこもりの若者達への居場所提供 “茗荷谷クラブ”

週2回の活動年間延96回開催への総参加メンバー数約290名

- ・ 引きこもりから立直りかけているメンバーOB達が定期的に参集して談笑・交流し翌日からの意欲を高め合う“若者オープングループ”の会合はベテランカウンセラーのオーガナイズの下で原則月2回年間延21回開催。

延参加者数95名

#### 引きこもりを対象とした自立支援事業「茗荷谷クラブ」

			
小旅行	レクリエーション	ボーリング大会	サッカー大会

#### イ. 社会参加支援プログラム開催事業

茗荷谷クラブ・小日向ハウスのOB達数名がグループ編成で、週末都心部のオフィスビル内の清掃を委ねられベテランケアスタッフの指導の下、厳しい条件下の仕事を経験する体験を通じ、社会参加への道筋を探りました。実施延回数39回参加延メンバー数180名

#### ウ. 思春期カウンセリング講座

引きこもりの子供をかかえる親（特に母親）ならびに地域社会の方々をも対象として思春期カウンセリングの知識を体得する為の各種講座を開催した。

- ・ 基礎講座：藤堂宗継先生（臨床心理士）を講師に迎え前・中・後期各8回開催、通期8名が受講。

・理論講座

前期：“カウンセリングの基礎”につき、大島朗生先生（臨床心理士）を講師として5回にわたり開催 延参加者数 65 名。

中期：“パーソナリティを理解する”をテーマに藤堂講師（前出）が4回の講義 延 35 名受講



後期：“家族グループカウンセリング”講師田村毅先生（東京学芸大学教授 医学博士）が5回の講義 延約 100 名が受講

・特別講座

前・中・後期に各 2 回大塚芳子先生（臨床心理士）を講師に迎え短期集中講義の形で“聴き方訓練”開講。3 回で延 30 名受講。中期には精神科医斎藤環先生を講師に迎え“ひきこもりの評価・支援に関するガイドライン”をテーマとする4回にわたる講座を設け、180 名余が聴講。

エ. 講演会・シンポジウム

年央の開催を予定し斯界の第一人者をコーディネーターに据え、テーマに沿うシンポジスト等検討を進めましたが、日程／会場予約等の都合が詰め切れず2月末に至り、年度内に記録集出版を含む事業完了迄持込むことが不可能となったことから、当年度の開催を断念するに至りました。

2. 予想される事業実施効果

引きこもる若者本人たちも、親・家族もそれぞれの活動に定常的に参加されるなかで、周りの人々とのコミュニケーションもスムーズに成立させられるようになり、鬱屈した気分から解放され、将来に向かい明るく立ち上がる気分を奮い立たせるきっかけとなりました。

3. 本事業により作成した印刷物等

PR用ちらし数種類のみ。

4. 事業内容についてのお問い合わせ

団体名：社団法人 青少年健康センター（セイショウネンケンコウセンター）

住所：112-0006

東京都文京区小日向 4-5-8 三軒町ビル 102

代表者：会長 斎藤 友紀雄（サイトウ ユキオ）

担当部署：事務局（ジムキョク）

担当者名：事務局長 監物 和夫（ケンモツ カズオ）

電話番号：03-3947-7636

F A X：03-3947-0766

E-mail：info-sk@me.biglobe.ne.jp

U R L：<http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~sk>